

## 様式4

### 令和7年度 第4回大津市公設地方卸売市場運営協議会の会議結果

1. 開催日時 令和8年3月27日（金）午前10時30分から午前11時25分まで
2. 開催場所 大津市公設地方卸売市場 大会議室
3. 出席者 19人 委員 11人（欠席2人）  
事務局 6人  
傍聴者 2人
4. 議事
  - （1）大津市卸売市場事業経営戦略の進捗状況について
  - （2）令和8年度大津市公設地方卸売市場事業の主な取り組みについて
  - （3）市場の運営方針及び施設改修等に係る調査検討について

#### 【質疑応答等】

委員：経営戦略の指標の推移は、冷蔵施設改修工事の影響が出ているように思う。  
また、取扱高や数量も計画の見通しと異なる点が見られ、昨今の猛暑や物価高等、  
様々な状況を反映した数字になっている。

委員：令和8年度の市場の取り組みについて、照明のLED化等も順調に進められ、また、  
市場の運営方針及び施設改修等に係る調査検討も報告書としてまとめられた。  
このような整理をもとに、来年度は、近畿圏の中央市場や県内の市場との関係やコー  
ドチェーン化等の機能強化について、入場業者の皆さんとの協議機関である「大津市  
場未来検討会議」等で協議が進められ、具体的にこういった形で令和9年度の経営戦  
略の中間見直しにつなげていくかという議論が進められる。

委員：調査検討報告書は、問題点や今後の方向性をきれいに整理されたと思う。来年度から、  
優先順位をつけて、どのように実現していくのか、課題を解決していくのかの検討を  
進められる中で、国の交付金等の活用も視野に入ってくると思うので、県としても一  
緒に検討させていただきたい。

事務局：よろしくお願ひしたい。

調査検討の中で、近年の東近江、彦根、長浜の県内市場や京都市場の取扱高等の推移  
を分析したが、大津市場の伸び率が最も高い。こうした情報も入場業者の皆さんと共  
有しながら検討を進めていきたい。

委員：コールドチェーンの必要性は再三お話をしてきた。気温が高いと軟弱野菜等の劣化が早く、収益に繋がらないため、噴霧器付きの冷蔵車の導入を検討している。これによって、商品が長持ちして小売店の収益は上がる。石油の高騰もあり、経営は厳しい。早期のコールドチェーンをお願いしたい。

事務局：スピード感をもって進めていかなければならない。今年度も、全入場業者の皆さんの話を聞く機会を設ける。青果・水産別、卸・仲卸・関連別等、それぞれの考え方をお聞きした上で、優先順位をつけて進めていく考えである。

－ 以上 －